

〔科目名〕 マネジメント論Ⅱ				〔単位数〕 2単位		〔科目区分〕 基幹科目	
〔担当者〕 中川 宗人 NAKAGAWA Muneto		〔オフィス・アワー〕 時間:授業内で掲示する 場所:505 研究室			〔授業の方法〕 講義(質疑応答・簡単な作業を含む)		
〔科目の概要〕 この授業では「マネジメント論Ⅰ」からの発展的な内容を扱います。具体的には、マネジメントに関する代表的な経営学説／理論を学んでいきます。代表的な理論／学説を学ぶことで、現代企業や組織のマネジメントについてより深く理解していくための土台を作ります。 この授業では以上の内容について、教科書を用いて学修していきます。原則として1回につき1章ずつ読み進めていきますので、必ず購入してください。 授業方法は、事前の教科書の予習と、授業内での内容確認を組み合わせで行います。具体的には、授業前に指定の章を読み、内容を自分の言葉でまとめ、わからなかった部分はチェックしておきます。授業内では、教科書の内容を理解しているか、質疑応答を通じて確認していきます。個人だけでなくグループでの作業を行う場合があります。							
〔「授業科目群」・他の科目との関連付け〕・〔なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか〕 代表的な経営学説を網羅的に理解することで、経営学全体や、戦略、組織、人事、財務、マーケティングなどの他の専門科目をより深く理解するための土台が身につきます。また、抽象的・理論的な思考を養う訓練となります。							
〔科目の到達目標〕 ・大学レベルの教科書を正確に読み解くことができる。 ・基本的な経営学説・理論について説明することができる。							
〔ディプロマ・ポリシー(DP)との関係〕							
学部				学科			
DP1	DP2	DP3	DP4	DP1	DP2	DP3	
○	○				○		
〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕 ・しゃべるスピードや音量についての希望が多かったので、聞き取りやすい発話・説明を心がけます。 ・LMSでの資料の配布など、事前・事後の学修がしやすい工夫を行っています。							
〔教科書〕 岸田民樹・田中政光(2009)『経営学説史』有斐閣(2300円＋税)							
〔指定図書〕 なし							
〔参考書〕 なし							
〔前提科目〕 なし							
〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等) 授業中にランダムに実施する「理解確認課題」への提出状況を、出席・参加状況の確認に用います。 正当な理由なく、これらへの参加が一定水準に満たない場合は、成績評価の対象外とすることがあります。 理解確認課題は、教科書の事前読解および授業内での議論の理解度を確認することを目的とします。 なお、授業内での発言そのものは個別に点数化しません。 成績評価は、授業内「理解確認課題」30%、「期末テスト」70%の割合で行います。							
〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕 教科書の指定範囲を事前に必ず講読したうえで、授業内では積極的に思考・発言することが求められます。 これらが難しい場合は単位取得が困難となりますので、計画的な履修を行ってください。 授業内の履修・作業に配慮が必要な場合は、教務に相談してください。							
〔実務経歴〕 該当なし							

授業スケジュール	
第1回	<p>テーマ(何を学ぶか): ガイダンス            内 容: 授業の進め方、成績評価について説明します。履修予定者は必ず出席すること。</p> <p>教科書・指定図書</p>
第2回	<p>テーマ(何を学ぶか): 協働という行為の組織化に向けて            内 容: 教科書・授業内容の前提となる協働概念について学びます。</p> <p>教科書・指定図書 プロローグ・エピローグ</p>
第3回	<p>テーマ(何を学ぶか): 作業の合理化            内 容: 静態的構造学派について学びます。</p> <p>教科書・指定図書 第1章</p>
第4回	<p>テーマ(何を学ぶか): 古典的経営管理論と管理原則の導入            内 容: 静態的構造学派について学びます。</p> <p>教科書・指定図書 第2章</p>
第5回	<p>テーマ(何を学ぶか): 合理性と官僚制組織            内 容: 静態的構造学派について学びます。</p> <p>教科書・指定図書 第3章</p>
第6回	<p>テーマ(何を学ぶか): 人間性の発見            内 容: 均衡学派について学びます。</p> <p>教科書・指定図書 第4章</p>
第7回	<p>テーマ(何を学ぶか): 協働体系としての組織            内 容: 均衡学派について学びます。</p> <p>教科書・指定図書 第5章</p>
第8回	<p>テーマ(何を学ぶか): 認識された制度の役割            内 容: 均衡学派について学びます。</p> <p>教科書・指定図書 第6章</p>
第9回	<p>テーマ(何を学ぶか): 技術と組織構造            内 容: 適応的デザイン学派について学びます。</p> <p>教科書・指定図書 第7章</p>
第10回	<p>テーマ(何を学ぶか): 課業環境と組織プロセス            内 容: 適応的デザイン学派について学びます。</p> <p>教科書・指定図書 第8章</p>
第11回	<p>テーマ(何を学ぶか): 課業と組織デザイン            内 容: 適応的デザイン学派について学びます。</p> <p>教科書・指定図書 第9章</p>
第12回	<p>テーマ(何を学ぶか): 問題解決を超えて            内 容: 進化プロセス学派について学びます。</p> <p>教科書・指定図書 第10章</p>
第13回	<p>テーマ(何を学ぶか): 組織の進化理論            内 容: 進化プロセス学派について学びます。</p> <p>教科書・指定図書 第11章</p>

第 14 回	テーマ(何を学ぶか): 創発する戦略行動 内 容: 進化プロセス学派について学びます。  教科書・指定図書 第 12 章
第 15 回	テーマ(何を学ぶか): 全体のまとめ 内 容: 全体のまとめを行います。  教科書・指定図書 エピローグ
試 験	筆記・選択肢式: 実施方法は授業内で説明します。